



企業メンタルヘルス活動を基盤とした、働き方タイプ尺度質問紙とeラーニングコンテンツの開発

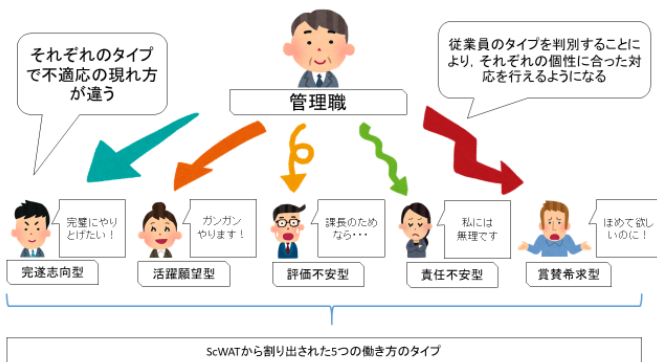
人間科学部 教授 岩宮恵子 准教授 野口寿一 准教授 石原宏 准教授 高橋悟 准教授 高見友理 講師 長谷川千紘 教育学部附属教師教育研究センター 講師 西嶋雅樹 島根大学こころとそだちの相談センター 特任講師 田中美樹 特任講師 三嶋朋子 特任講師 高野由美子

島根大学こころとそだちの相談センターは、臨床心理士・公認心理師受験資格取得を目指す大学院生のための学内実習施設として、平成13年度に教育学研究科所属「心理臨床・教育相談室」として設立され、平成29年度に全学センター化されました。同センターでは、地域の住民の方の来談相談に応じるだけでなく、山陰地域の複数の企業とメンタルヘルス契約を結び、従業員の心理相談や、管理職に対するコンサルテーション、さらにはeラーニングコンテンツの提供を行ってきました。

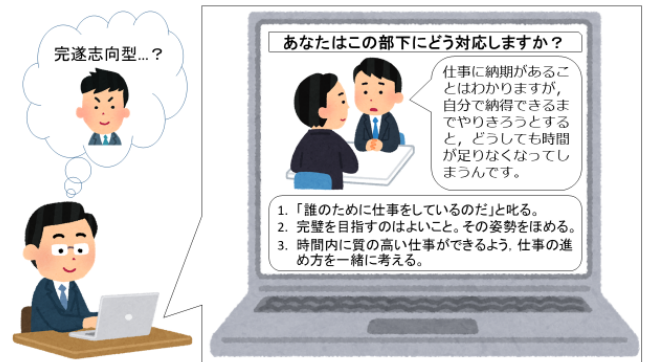
この企業メンタルヘルス活動を通して、従業員の仕事上の問題の現れ方は、その従業員の働き方のタイプによって異なることが分かってきました。

そこでセンターでは、島根大学式働き方タイプ尺度（Shimane University Scale for Working Attitude Type；島大式ScWAT）質問紙を開発して企業に提供し、従業員の自己理解の促進と、メンタルダウンの予防に役立ててもらっています。

また現在では、管理職等の立場から従業員への対応を行う際に、その従業員のタイプに応じた対応を行うことができるようになることを目指したeラーニングコンテンツを開発しています。これらの活動を通して、地域の住民や企業の構成員の方々の方々の心の健康の維持・増進に貢献できるよう、日々実践と研究に取り組んでいます。



ScWATのイメージ



eラーニングのイメージ